

# 岐阜県恵那市大井町地区の 景観計画策定に向けた地域資源に関する考察

井出 純一<sup>1</sup>・横内 憲久<sup>2</sup>・岡田 智秀<sup>3</sup>・押田 佳子<sup>4</sup>

<sup>1</sup>学生 日本大学 理工学研究科不動産科学専攻 (〒274-8501千葉県船橋市習志野台7-24-1)  
E-mail:idejun9012@yahoo.co.jp

<sup>2</sup>正会員 日本大学教授 理工学部まちづくり工学科 (〒101-8308東京都千代田区神田駿河台1-8-14)  
E-mail:yokouchi@arch.cst.nihon-u.ac.jp

<sup>3</sup>正会員 日本大学准教授 理工学部まちづくり工学科(〒274-8501千葉県船橋市習志野台7-24-1)  
E-mail:okada.tomohide@nihon-u.ac.jp

<sup>4</sup>正会員 日本大学助教 理工学部まちづくり工学科(〒274-8501千葉県船橋市習志野台7-24-1)  
E-mail:oshida.keiko@nihon-u.ac.jp

岐阜県恵那市では2008年より、景観法に基づく景観計画策定作業が進められたことと連動して、地域別の景観まちづくり活動が展開されている。市内全13地区の1つである大井町地区でも、このほど景観まちづくりが始動し、筆者らもその活動に参画するに至った。当地区は、JR恵那駅を内包していることからアクセスが良好で、さらに中山道の46番目の宿場町「大井宿」を有している。しかし、当地区の良好な景観形成に向けた議論は緒についたばかりであり、景観形成に資する地域資源や課題が捉えきれないのが現状である。

そこで本研究では、岐阜県恵那市大井町地区を対象として、景観形成に資する地域資源の抽出と現状の課題について考察した。

**Key Words :** *Oi-cho, Landscape Planning, Local Resources, Nakasendo*

## 1. 背景および目的

本研究対象地である岐阜県恵那市大井町(図-1)は、JR恵那駅を内包していることから、アクセスが良好で、さらに中山道 49 次の中の 1 つである 46 番目の宿場町「大井宿」を有している。その他にも明治期より誕生した一大観光地である「恵那峡」も有しているなど、江戸時代から現在まで 400 年以上の歴史・文化を持つ町となっている。こうした地区を有する岐阜県恵那市では、2008(平成 20)年より、景観法に基づく景観計画策定作業が進められたことと連動して、地域別の個性を生かした景観まちづくり活動が展開されている。市内全 13 地区の 1 つであり本研究の対象地である大井町地区でもこのほど景観まちづくりが始動し、筆者らもその活動に参加するに至った。しかし当地区の良好な景観形成に向けた議論はまだ緒についたばかりであり、景観形成に資する地域資源や課題が捉えきれないのが現状である。

そこで本研究では、恵那市大井町全域を対象とし、景

観形成に資する地域資源の抽出と現状課題について考察することを目的とし、過去から現在までの地域資源の抽出を行い、それらの現存状況の確認をする。

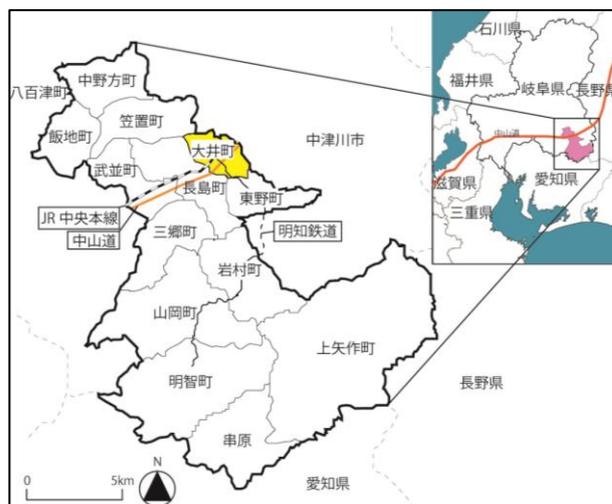


図-1 対象地域

## 2. 研究方法

本研究では、恵那市大井町全域を対象とし、表-1に示す文献調査および現地調査から地域資源の抽出と現存状況の分析を行った。

表-1 調査概要

項目	内容
文献調査	大井町の歴史・地域資源など 文献1)～3) , 6)～8) , 10) 観光マップから地域資源の分布状況を把握 文献4) , 5) , 9) , 11)
現地調査	大井町全域と中山道大井宿の現状把握 【2012(平成24)年6月30日】 文献調査より把握した大井町全域の地域資源調査 【2012(平成24)年9月23日】 大井町全域を対象とした眺望点の発掘(走行距離300km) 【2012(平成24)年11月10～12日】 抽出した地域資源の現存状況の確認 【2013(平成25)年1月19, 20日】

## 3. 結果および考察

文献調査より抽出した地域資源とその現存状況を表-2に、これらを地図上に布置したものを図-2にそれぞれ示す。以降これらを用いて考察を述べる。

### (1) 掲載状況から見た地域資源の特徴

表-2、図-2より、地域資源全105件を抽出した。掲載状況を見ると、「44. 阿木川」と「64. 大井橋」が11文献中7文献と最多であり、次いで「33. 金龍温泉」「35. 金龍公園」「56. 乗船場」「11. 長国寺」の5文献であった。さらに、観光マップ(表-2★印)である『麗峡大井恵那峡』など4文献をみると、「9. 大井武並神社」「11. 長国寺」「36. 金毘羅神社」「44. 阿木川」「64. 大井橋」の5件は、戦前・戦後両方の文献に掲載がみられた。これらのうち、現存状況調査で捉えられた現存要素は5つの要素すべてである。したがって、これら5要素は観光資源として特に地域に根ざしたものとえよう。

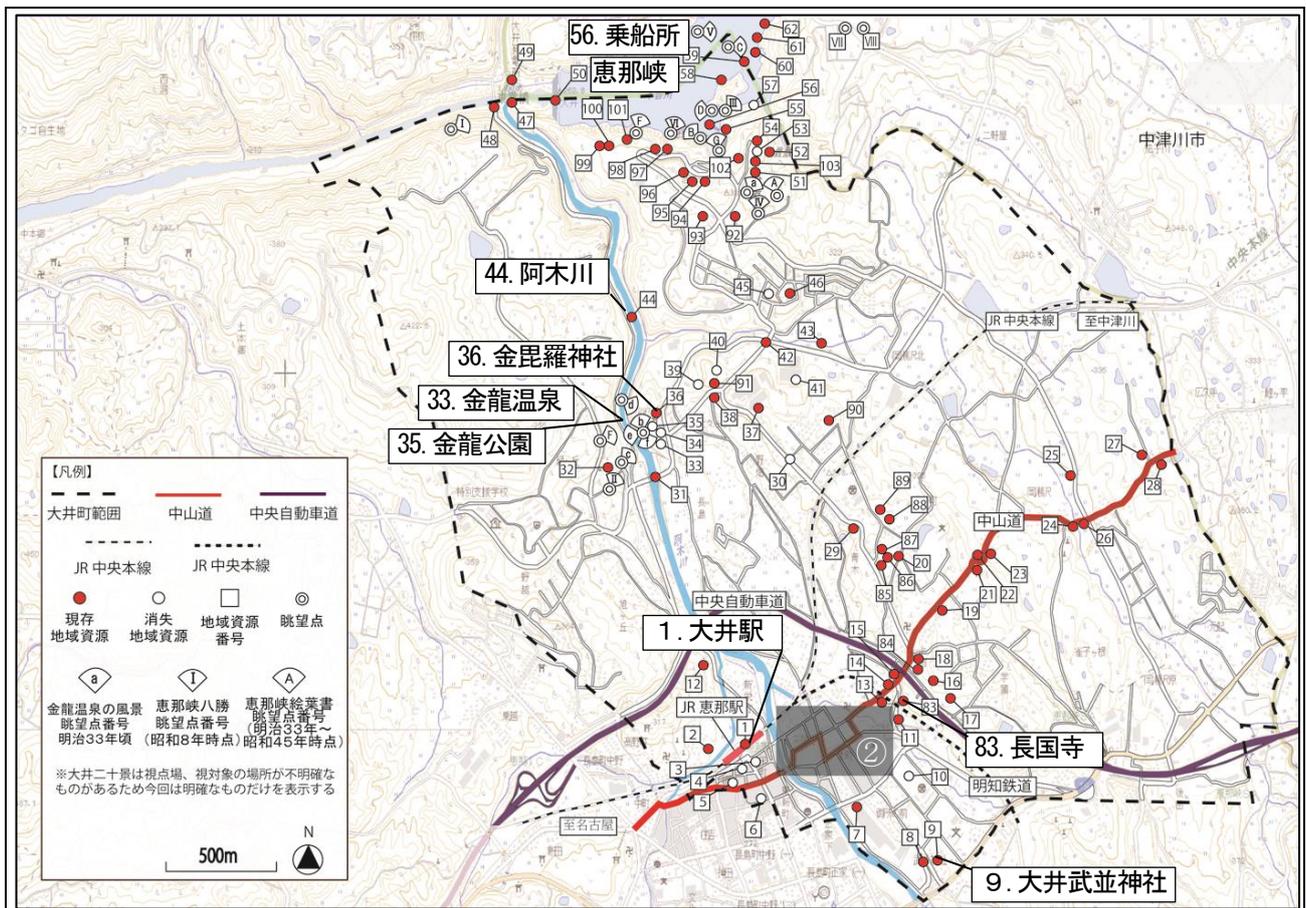
### (2) 年代別から見た地域資源の特徴

表-2より年代別に地域資源をみると、『麗峡大井恵那峡』が発行される戦前までは、「33. 金龍温泉」などの観光施設や「1. 大井駅」などの公共施設などが多く掲載される傾向がみられた。戦後は「9. 大井武並神社」や「11. 長国寺」などの社寺、「66. 長屋門」や「76. 本陣跡」などの史跡といった歴史・文化施設を中心に掲載される傾向がみられた。これは北部の重要な観光資源であった「33. 金龍温泉」が戦後消失したことを契機に、戦前と戦後で重要視される地域資源の属性に変化が生じたことが考えられる。これにより地域資源の記載事項が多く存在した北部地域から、歴史・文化施設が多く残る中山道大井宿に移行し、その結果として「33. 金龍温泉」が存在した北部地域への関心が希薄となったものと推察する。

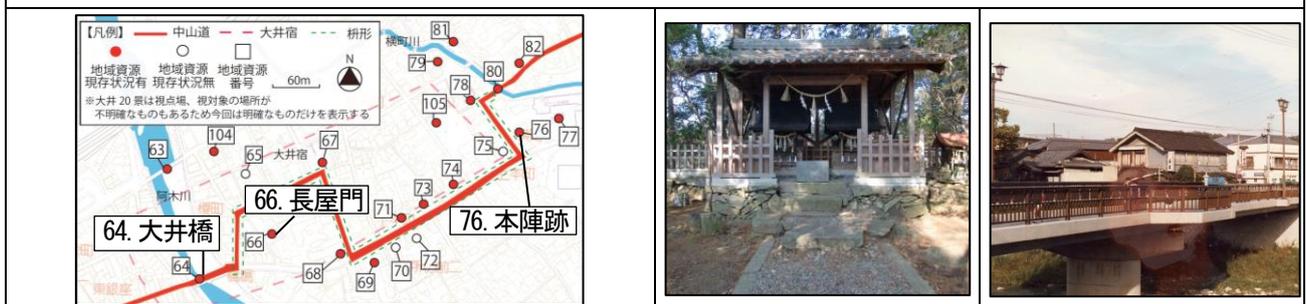
表-2 地域資源分類

大分類	小分類	地域資源	調査文献											掲載状況合計	現存状況			
			※地域資源番号	★麗峡大井恵那峡	★大井恵那峡	★遊大井恵那峡	★恵那峡大井ダム	★金龍温泉の風景	★金龍温泉の遊覧の菜	★恵那峡御案内	★大井二十景	★通史第2巻	★恵那の中山道			★ガイドマップ	★恵那市文化財	★恵那市文化財
			M33   S45	M33頃	S4頃	S7   S11	S8	S9以降	S33	H5	H12	H15	H19					
観光施設	料理屋(4)	料理信濃屋	4						○						1			
		料理朝日亭	5						○						1			
		料理水平	6						○						1			
		料理千畳間	57						○						1			
	旅館(6)	金龍温泉	33	○		○	○								5	○		
		旅館屋新田中屋	69												1	○		
		明治天皇行在所	71												2	○		
		宿役人の家	73												1	○		
		金龍館	34	○	○				○						4	○		
		旅館屋角屋	68								●				2	○		
遊覧(2)	乗船所	56	●		○	○	○	○						5	○			
	遊覧恵那所	55												2	○			
公共施設	公園(4)	金龍公園	35	○	○	○	○							5	○			
		中山道甚平坂公園	22												2	○		
	傘岩稲荷公園	53	○			○								2	○			
	土ヶ根公園	39												1	○			
	ターミナル(2)	大井駅(現恵那駅)	1		○	○	○		●						4	○		
		町営バス倉庫	3												1	○		
	ダム発電所(3)	大同発電所	49	○			○	○	○						4	○		
		ダム式堤堰	50	○			○	○	○						4	○		
	東濃発電所	47												1	○			
	インフラ	道(3)	遊覧道路	29						○						1	○	
桜街道			30												1	○		
金龍館近道			38												1	○		
橋(6)		河鹿橋	31	○											2	○		
		大井橋	64	○		○				●	●	●			7	○		
		東豊橋	48	○							●	●			3	○		
		神禾橋	63												1	○		
		奉行橋	42												1	○		
		上横橋	80												1	○		
川(2)		阿木川	44	○						●	●	●	●		7	○		
	濁川	43	○						●	●	●	●		4	○			
自然	岩(6)	太鼓岩	46												1	○		
		傘岩	51	●											3	○		
		千畳敷岩	52			○									1	○		
		重岩	61												1	○		
		犬戻り	60	○											2	○		
		金床岩	62	○											2	○		
	桜(2)	シダレザクラ	37										●		1	○		
		武並神社の桜	8							●					1	○		
	田畑(1)	横平桃園	41						○					1	○			
	島(1)	彌天島	59						○					1	○			
社寺(18)	社寺(18)	長国寺	11						○	●	●	●	●	●	5	○		
		大井武並神社	9						○	●	●	●	●	●	4	○		
		延寿院横楽師	78								●	●	●	●	3	○		
		市神社	67								●	●	●	●	3	○		
		馬頭観音(5妙坂)	27								●	●	●	●	1	○		
		岡崎沢観音堂	24								●	●	●	●	2	○		
		根津神社	21								●	●	●	●	2	○		
		富士浅間神社	2									●	●	●	2	○		
		金毘羅神社	36						○			●	●	●	2	○		
		東禅寺	12								●	●	●	●	1	○		
		内城稲荷神社	77							○					1	○		
		浅間神社	25							○					1	○		
		正善寺鬼子母神	20				○								2	○		
		専行寺	32							○					1	○		
		菅原神社	15								●	●	●	●	2	○		
		恵那峡稲荷	45							○					1	○		
		浮島稲荷	58				○								2	○		
		傘岩稲荷	54				○								2	○		
歴史・文化施設	塚・塔・墓(34)	名号塔	13							●	●	●	●	●	4	○		
		関戸一里塚跡	19							●	●	●	●	●	3	○		
		馬塚	23								●	●	●	●	2	○		
		三十三番神	79								●	●	●	●	2	○		
		長石塔	18								●	●	●	●	2	○		
		毘沙門天	81								●	●	●	●	2	○		
		蓮華寺古墳群	17									●	●	●	1	○		
		上宿石仏群	14									●	●	●	1	○		
		常夜灯	26									●	●	●	1	○		
		旅人の墓	16									●	●	●	1	○		
		恵那峡八十八番所	83-106									●	●	●	1	○		
		御所の前五輪塔群	7									●	●	●	1	○		
		史跡(11)	史跡(11)	本陣跡	76							●	●	●	●	●	4	○
				長屋門	66							●	●	●	●	●	3	○
				高札場跡	82								●	●	●	●	3	○
				上間屋跡	75								●	●	●	●	3	○
				下間屋跡(臨本陣)	72								●	●	●	●	3	○
				白木改番所跡	65								●	●	●	●	2	○
茶屋みだけ屋跡	74										●	●	●	●	2	○		
橋本屋跡	70										●	●	●	●	2	○		
大井城跡	10											●	●	●	1	○		
中山道の碑	28											●	●	●	1	○		
表忠碑	40											●	●	●	1	○		
合計		105	11	6	4	14	5	43	6	20	23	10	34	176	90			

※地域資源番号は図-1に対応しており、小分類の0内の数値は各分類の合計を表す。★は観光マップを表す。掲載状況の○は戦前、●は戦後を表し、○は現存を表す。文献の記号数字は年代を表す。



①大井町全域の地域資源現存状況



②中山道大井宿周辺の地域資源現存状況



図-2 地域資源現存状況

### (3) 眺望点から見た観光形態の移り変わり

図2より、戦前では岩や川などの自然要素を楽しむような眺望点が起伏に富んだ北部を中心に数多く存在し、『恵那峡絵葉書』や『金龍温泉の風景』などにみられる恵那峡対岸の山並み(図-3)や大井町の町並み(図-4)といった中景や遠景の風景が高く評価されてきた様子が伺える。一方、戦後は中景、遠景についての掲載ほとんどなく、中山道大井宿などの歴史・文化施設の近景が注目され、戦前に評価された北部地域の豊かな起伏からの中景、遠景は重視されなくなった。これにより前節同様、北部地域への関心が希薄となったものと推察する。

しかしながら全地域資源の現存調査の結果、眺望点や視対象の多くは北部に現存しており、これらを保全・活用するためには、観光マップに掲載するなど情報の「見える化」が必要となろう。これにより近景から遠景まで多様な風景を楽しめる大井町を形成することが期待されよう。



図-3 軍艦岩より見たる盟主金子床岩及獅子岩の雄姿  
(出典:恵那峡絵葉書)



図-4 東濃恵那郡大井町金龍公園より大井町を望む  
(出典:金龍温泉の風景)

謝辞: 本研究はJSPS科研費21340043(代表: 早稲田大学・佐々木葉)の助成を受けたものです。

### 参考文献

- 1) 恵那市: 恵那市史通史編第2巻, 1989. 3
- 2) 恵那市: 恵那市史恵那市の地名, 1989. 3
- 3) 恵那市教育委員会: 恵那の中山道かたりべの水箱, 2000. 3
- 4) 恵那市教育委員会: 恵那街道歩記, 2007. 3
- 5) 恵那市教育委員会: 恵那市文化財ガイドマップ, 2003. 6
- 6) 松林堂: 恵那峡絵葉書, 出版年不詳
- 7) 金龍館: 金龍温泉の風景, 出版年不詳
- 8) 中山道広重美術館: 大井恵那八勝
- 9) 大井町役場: 麗峡大井恵那峡 遊覧船と遊覧バス御案内 1934以降
- 10) 恵那峡大井ダム金龍温泉遊覧の葉 小澤恵那瀧
- 11) 大井町役場: 大井恵那峡遊覧御案内 岩と水の魅, 1932-1936(推定).